

社会科

昨年度の授業改善プランの検証

昨年度の課題であった「基礎・基本」的な事項の定着を伸ばす取り組みを行った結果、2、3年生に関しては、昨年度に比べて目標値との差が縮まった。このため、今年度も引き続いて、授業の導入時の復習や単元が終わるごとのテストを実施するとともに、グループワークや資料を活用した学習を充実させることで、さらなる基礎学力の定着を図りたい。

生徒の様子、学力について

分
観点別の学習については、1学年～3学年共通して、知識・技能に課題がある。領域別については、1学年は地理的分野の「我が国の農業や水産業」、2学年は地理的分野の「世界各地の生活と環境」、3学年は地理的分野の「日本の地域的特色と地域区分」に課題がある。

析
<知識・技能>
校内平均正答率は、目標値より1・3学年は下回っている。2学年はやや下回っている。

<思考・判断・表現>
校内平均正答率は、目標値より2・3学年は下回っている。1学年はやや下回っている。

<主体的に学習に取り組む態度>
校内平均正答率は、目標値は1学年～3学年共通して下回っているものの、全体的に社会を理解しようと努力する姿勢は見受けられる。

課
題
<知識・技能>
全体として基礎的・基本的な知識が身につけていないという課題がある。基本的なグラフの読み取りなどは改善傾向にあるが、統計資料などにおける数値の読み取りや比較、歴史資料などの読み取りや分析などに関して、さらに向上を図る必要がある。

<思考・判断・表現>
思考力・表現力・表現力に関しては、目標値より下回っているものの、言語活動の成果が着実に表れている。今後も活動を継続して実施していきたい。

<主体的に学習に取り組む態度>
全体として授業への興味・関心は高く、生徒は意欲的に取り組んでいる。今後も視聴覚教材やICTなどを活用して、いっそうの興味・関心の向上を図っていきたい。

授
業
改
善
の
ポ
イ
ン
ト
<知識・技能>
家庭学習にも力を入れさせるように努めていく。学校では、小テストやワークなどに反復して取り組む機会をつくり、知識・技能の定着に努める。各種資料の読み取りに課題があるので、グラフの読み取り問題などを積極的に授業内での演習に取り入れて、実際に活用する技能を身に付けさせる。

<思考・判断・表現>
学習内容に応じて生徒がじっくりと考える時間を確保できるように努めながら授業を進めていく。また、授業中に自身の考えを表現し、相手の考えを聞き取る活動を行う。また、社会的事象について説明し自分の考えを論述する活動を充実させる。表現活動が苦手な生徒もいることから、自分の考えをノートに記載させるなどの取り組みを増やしていく。

<主体的に学習に取り組む態度>
生徒が興味・関心をもつような授業を展開し、主体的に学ぶ意欲を向上させる。また、ICTを積極的に活用して、興味関心を高めるだけでなく、生徒の理解力を高めていく。多面的・多角的に社会的事象を理解できるように、単元間のつながりを意識させる授業を展開する。